

県営発電所周辺地域等振興事業 —鶴ヶ池公園の大型遊具を整備しました！—

この度、県営発電所周辺地域等振興事業助成金【にぎわい創出(地域興し)事業】を活用し、経年劣化により使用中止になっていた鶴ヶ池公園の大型コンビネーション遊具を新たに整備しました。

山内地域では、平成11年から大松川ダム発電所が稼働していることから、県営発電所周辺地域等振興事業助成制度の適用を受けています。



ワークショップ開催

山内地域では、令和4年度からの地区交流センター開設に向け、地域住民が主体となって準備委員会を組織し、センターの運営体制等について協議を進めています。

昨年度は秋田県が実施しているコミュニティ生活圏形成推進事業のモデル地区として、人口推計のモデル検討と移住定住を促進するために、地域でできる取り組みについて検討を行いました。

今年度は、昨年度の県事業の結果を参考にしながら、ワークショップ（全5回）を開催し、センターの事業計画の策定等について具体的な検討を行っています。これまで行われた3回のワークショップには、今年成人を迎えた若者や各種団体の代表者など幅広い世代の方々43名が参加し、山内の地域づくりについて活発に意見交換が行われました。

話し合いの内容は下記のとおりです。

- 第1回（10/19）「交流センターの役割や機能」
「昨年度の秋田県事業の結果」
- 第2回（11/10）「交流センターの活動
アイデアを考える」
- 第3回（12/3）「活動アイデアを絞り込む」



第1回では、地区交流センターの概要説明及び意見交換、昨年度の県事業（人口安定に向けた定住目標、地元天気図を作成し、地域の強み弱みを理解し、具体的にどんな活動ができるのか話し合った結果等）を情報共有しました。第2回では、前回の質問事項等の共有と活動アイデアを提案、第3回では、前回考えた活動アイデアを地区交流センター事業として事業分野ごとに振り分けました。